

いよいよ秋本番。
ニットの季節がやってきました。

やっとニットの本番の季節がやってきました。お陰様で、会社を始めて最初の春夏が終りホッと一息です。

この不況の中、なんとか乗り切る事ができました。自分ではマアマアのできでだったのではないかと思っております。秋以降もどうぞ宜しくお願いします。

秋冬物PARTII-II

秋冬物PARTIIは遅くとも六月四週目には行いたいと思っていたのですが、小社の都合で七月中から末にずれ込んでしまいました。

夏物バーゲンセールが始まってしまい、また他のメーカーさんの展示会もほとんど終わってしまっているため、出席はかなりむずかしいと思うのですが、はたしてその通り、ほとんど『九月に入ったら上京するのでその時に寄ります。』でした。

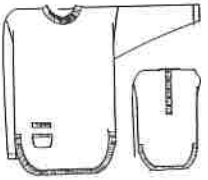
先回間に合わなかった三ヶ点を加えて、より納期に近い時期での展示会として開催させていただきます。

八月三十一日(火)～九月二日(木)
と翌週 九月七日(火)～九月九日(木)

小社にて開催します。

冬物展 best-3

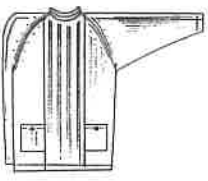
8色展開
オフ、淡グリーン、ピンク、ベージュ、マゼンダ、パープル、グレイ、ブラック



10ゲージ 畦(表) ソフトウールの肌触りが抜群、ミニボタン、ポケットと裾リブで大人の可愛さを演出。今回のNO1、ショートも好評でした。 NO1148, NO1149

NO. 1150 W100%
上代¥24,800


8色展開
オフ、イエロー、サックス、淡グリーン、ブルー、ピンク、ベージュ、オレンジ



10ゲージ・畦(表) ウールの糸ナイロンと黒のポリエステル糸を巻いた紡毛シンクロで丁寧に成型された畦縞、ロールネックとポケットがポイント

NO. 1168 W74% NY18% PE8%
上代¥18,800

6色展開
オフ、イエロー、ブルー、ピンク、チャ、チャコール



7ゲージ・天竺(インターシャ)
カシミア混のソフトラム糸でアーガイルをグラデーション風に優しく表現。シルエットがGOOD

NO. 1145 W75% NY25%
上代¥22,800

秋物の現物もかなり上がっていますので、七月展に御来社いただいた方々も是非、時間を作って、御来社ください。



南青山界限

この界限で最も変わった建物が、青山道1(246号線)をはさんで青山学園大学の向かい側にできた国連大学入学生本部でしょう。

ここは以前は都バス車庫で、汚くってゴチャゴチャしていたんですが、今ではこの国連大学を始め、子供の城劇場や楕円形をしたオーバルビルが出来、青山でもきれいで近代的な一角になりました。

この国連大学は日本に在る、唯一の国連機関だそうです。

丹下健三の設計で、回りの調和はさておき、ピラミッドのような建物は、とにかくよく自立しています。

教授や学生のいない大学で、国際的な研究機関の中核だそうで、いただいたパンフレットを何回読んで、百三十億円かかった建築費は日本の奇

付、土地は東京都が無償で貸与しているくらいしかよく理解できません。広々としたロビーはいつも閑散として、狭い事務所まで波々としているものとしては、羨ましい限りです。

開所式の時、皇太子様をはじめ、各国の大使やお歴々が出席され外交官ナンバーの車のオンパレードでした。

ふだんでも、東京の中でも、この界限は外交官ナンバーの多いところだと思えますが、外交官ナンバーや(外)の大使公用車はその車自体が治外法権だそうです。御存じでしたか?

(外)の大使公用車はさておき、外の外交官ナンバーでもあまり良い車は見掛けませんね。普通に通っている車が良すぎるのか、やっぱり日本は豊かんですね。



楽しくチャレンジ

英大云々証

フアッションとは関係

ない話ですが、以前、海外旅行の添乗員をやっていた頃、『英語が出来て良いですね』とよく言われました。

でも全く英語には自信がありませんでした。自信があったら、旅行屋でなく通訳とか他の職業を選んでいたらと思います

『英語には自信がないけど、意思を通じさせる会話なら結構自信ありますよ』とよく言っていました。

会話の目的は、相手と意思を通じさせることです。何れも、相手と議論するわけではなし。またスラスラと喋って相手を感心させるのが目的でもなし。ましてや日本人に聞かせる分けでもなし。

そこです。自分が話す事。相手の言う事はあまり聞いても分らないんですから、こちらの知っている単語で聞いてもらう。しかもトットツと。

一番いけないのは、文章を頭の中で作って、そこだけスラスラと話す事。誤解されるもと。

また片言で通じるところが楽しいんですよ。

例えば、ホテルのカウンターへ行きルームブリーズと言って、フンナイトと言いながらメモで\$100.00、9/7/9/9と書けば。



この人は一泊百ドルの予算で九月七日から九月九日まで泊まりたいんだなあ、100%のホテルマンが思います。それ以外に考えられません。ましてやメモで\$100X2=200書けば2泊の確認もできます。

筆談もジュエチャーもリッパな会話。話した英単語はルームとブリーズとフン・ナイトだけ。

それにローマ数字は世界共通ですから何語にもなります。アイ・ウオントもメイ・アイも、リザベーションも、もちろんん文部省の得意な文法も、いりません。

ましてや私達の日本語の文法も、普段はメチャメチャだともいせんか？

実際に、絶対英語でなければいけない単語は、会話の中ではそんなに多くないと思います。

これはフランス語でもイタリア語もスワヒリ語でも、何語でも共通だと思います。実際私がその方法で世界中回っていたのですから。

口先だけでない会話がいちばん、下手な会話ほど、気持ちに通じると信じています。

*****覚えておくくと便利ニット豆知識*****

ジャガードはジャカーンさんが作ったから

ニットで複数の色を表現するのに、手編みを始めインターシャ、ジャガード、刺繍、プリント等がありますね。プリントはニット製品にはあまり一般的でないで、複雑な柄を表現するときはジャガード編みがよく使われます。今から200年ほど前の、1804年にフランス人のジャカルさんという人が、紋柄や幾何学模様を編み込める自動編み機を発明したことにちなんだそうです。



マルロンは袖の中の力持ち

昔は綿や麻のセーターの袖リブが、一回着ると伸びてしまい、もどらなくて困った事がよくありましたよね。この頃は袖リブが伸びてほしくないとき、マルロンというストレッチ性を持たせるための特殊な糸を編み込みます。よ〜く目を凝らしてみると、ちよつと色目が違って見えることがあります。200色ぐらいの色の中から、最も近い色で編み込むんですが、素材によって目立つ時があります。解らないように編み込むのも工場さんの腕の見せ所。貴方のセーターの袖口をもう一度よ〜く見てみてください。

マルロンは高級ですが、この種の糸を一般にマルロンと呼んでいます



茶のみ話

ニット屋になる前は海外旅行の添乗員でした。チャンスがあったら是非お薦め

パームスプリングスは

雨知らずのゴルフ天国

円高が進み、一ドル百円にもなりそうな勢いです。日本で稼ぎ海外で使う。この最も効率の良い使い方の一つが海外旅行ですよ。

今頃まで、旅行屋をやっていたり良かったなどと時思うほど、今海外旅行は有利です。中でも一番は(私は、と少し書き付き)ゴルフ。海外、特にアメリカ、でのゴルフは超安で、気軽というゴルフ大好き人間としてはまさに天国です。

ハワイやグアムのゴルフ場は、今では日本企業のオーナーが多く、高くて混雑して日本と変わらなくなってしまいました。

でもアメリカ本土では、セルフカートを引きたり、肩に担いだり、みんな気楽にプレイしています。日本みたいに大変だぞないところが良いですね。

プレイフィーも、パブリックコースでは、どこでも十五ドル(千五百円)前後、リゾートホテルのすばらしいコースでも五十ドルぐらい。百ドルもするコースはめったにありません。

ロス市内でUCLA近くのランチョパーク・ゴルフコース。ここはパブリックですがロスアンジェルス・オープンも行われた、良いコースです。

ここで以前、老夫婦と三人でプレイしたら、なんとこの老夫婦はバスターだけやるのです。二人で散歩しているみたいで、あっちこっちへ行く僕のボールを捜してくれ、コーラまで買って来て、日本では考えられないゴルフでした。

ちなみにここは十二ドル。(週末十四ドル)市民で老人や学生は割引有りです。



いま一週間の休みと二十万ぐらいのお金があったら、明日にでも飛んでいきたいぐらい、是非お薦めがカリフォルニアのパームスプリングス。

ここは日本ではまだあまり知られていないようですが、ブッシュ大統領と海部首相の日米首脳会談をやったぐらいアメリカでは有名な所なんです。

ロスアンジェルスから東へ車で約二時間。着くまでは、荒涼とした砂漠の中に、こんなきれいなリゾートが有るなんてとっても考えられません。

道の片側は岩のゴツゴツした砂漠と岩山。もう一方は緑の芝生にスプリングラーが回る豪華な別荘。これを見ていると、本当のアメリカの底力を見せられる思いがします。

このパームスプリングスでもう一度、ぜったい泊まりたいのがラキンタ ホテル。

このホテルは、パームスプリングスのなかでも最も古いホテルの一つです。

雰囲気、サービスとも抜群。白い壁に赤い屋根、中世スペインの領主の館風のホテルで、花に埋もれているといってもいいぐらい、花いっぱいホテルでした。

泊まっていたコテージの庭の小さな木に、ハチドリがニワトリの卵ぐらいの小さな巣を作っていて、ゴルフが終わって、デッキチェアから長い間、眺めていた思い出があります。

P G A ツアーやゴルフボールのCMに使われる、有名なこのコースでも六月のオフシーズンのこともあって、二〜三ホール前も後ろも人がいないというガラガラの状態でした。

このすばらしいコースでプレー出来るだけで幸せ。しかも値段は六千円弱、四日間やって日本と同じだと思つと、日本でプレイするのがなんだかバカバカしくなっています。



La Quinta Hotel Golf & Tennis Resort

いつか皆さんをお誘いして、B H F のゴルフコンペをここでやってみたいものです。